

ユネスコ無形文化遺産の認定書授与を報告

7/18

「徳山の盆踊」のユネスコ無形文化遺産登録認定書授与を町長に報告しました



認定書を報告する森博士さん

7月10日にユネスコ無形文化遺産「風流踊」登録記念式典が文部科学省で開催され、永岡文部科学大臣から「徳山の盆踊」を含む全国24都府県41団体にユネスコ無形文化遺産登録認定書のレプリカが伝達されました。静岡県からは「徳山の盆踊」と静岡市の「有東木の盆踊」が認定されています。

これを受け、徳山古典芸能保存会長の森博士さん（徳山区）が菌田町長に報告し、町長は、今後は学校と連携し子どもたちを中心に普及活動に力をいれていきたいと話しました。

看護学生が町内で実習活動～地域住民と交流～

7/26

静岡県立大学看護学部の生徒が発展看護実習を行いました

7月26日から7月28日の3日間、静岡県立大学看護学部の4年生6名が町内において看護実習活動を行いました。これは、静岡県内のへき地に暮らす人々と直接ふれあうことで地域や生活環境の特性の理解を深め、保健・医療・福祉の課題を明らかにすることを目的としたものです。

実習初日の午前中、徳山の防災コミュニティーセンターで開かれた「元気はつらつ教室」の参加者から、川根本町に住んでよかったことや災害に対し実践している備えをインタビュー形式で聞き取るなど交流を深めました。



研修に参加した学生と地域の皆様

川根高校生3名が国会議事堂で発表

7/31

第1回「全国高校生政策甲子園」本大会に出場しました



国会議事堂でプレゼンをする生徒たち

地生学（健康・福祉分野）で研究に取り組んでいる川根高校生3名が、日本青年会議所主催「第1回全国高校生政策甲子園」本選大会に出場しました。チーム名は「Blackouters（ブラックアウトーズ）」。

全国から予選を勝ち抜いた10チームが、国会議事堂でプレゼン、自分が内閣総理大臣になったという設定で、全国に展開したい新政策を各チームが考案し、披露しました。

同チームは、あえて計画停電をすることで電力消費を抑え、節電分の電力量をクレジットとして売買させることで経済循環を生み、脱炭素化を加速させる仕組みを提案しました。

絆を深めこの町をもっと深く知るために

7/16

三ツ星小学校児童が町内各地でウォークラリーとワークショップに参加しました

異学年の児童との集団生活を通し、思いやりの気持ちを学ぶこと。また、地域の人と関わることで、自分たちの住んでいる地域の良さを知ることを目的に、町内各地でウォークラリーとワークショップを行いました。コースは、新しい三ツ星小学校区をより詳しく知るために、旧中川根第一小学校区・旧中央小学校区・旧中川根南部小学校区において1つずつ選定しました。また、ワークショップは、地域の方を講師として6つの講座を設定しました。旧中川根南部小学校区では山下健さん（地名区）、栗原春子さん（地名区）による「昆虫の紙飛行機」づくりと「ドライフラワーのアレンジメント」を行いました。



旧中川根南部小学校区でのワークショップの様子

日頃の青少年健全育成活動が評価されて

7/12

町長へ表敬訪問しました



中原康夫さん(左)と山田俊男さん(右)

地域活動を通して、少年の非行防止に大きく貢献した功績が認められ、警察庁全国少年警察ボランティア協会より、山田俊男さん（上長尾区）に、少年補導栄誉銅賞が、静岡県警察本部より、中原康夫さん（千頭東区）に感謝状が授与され、菌田町長に報告しました。

この賞は、街頭補導活動や相談活動、被害少年支援などさまざまな公共の場において、少年や保護者から相談を受け、助言・指導を行うものです。

お二人は、「これからも子どもたちの成長を見守っていききたい」と今後の意気込みを語りました。

「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰

7/18

川根本町役場で伝達式が行われました

国土交通省では、緑を守り育てる国民運動を積極的に推進していくため、花と緑の愛護に顕著な功績があった民間団体に対し、国土交通大臣表彰を行っています。静岡県内で唯一「くのわき未来の会」が受賞しました。この日、主催の国土交通省を代表し、長島ダム管理所長の川口一彦さん立ち会いの下で伝達式が行われました。

同団体は、平成27年から活動を開始し、久野脇地区において沿道に花桃やスイセンを植える活動や、川根茶の美しい茶畑を眺められる展望台の整備および周辺の除草を行っています。



表彰状を手に受賞を喜ぶ「くのわき未来の会」の皆様